

授業科目	教育実習Ⅱ				単位	4		
履 修	選択	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語)		ナンバリング	EN44119J		
開講年次	4	開講時期	通年	該当DP	DP1-2 DP4-1 DP4-3 DP5-1			
担当教員	塚本 美紀、太田 かおり							
授業概要	これまで学んできた理論や方法などの知識および教え方の技術などを基にして、中学校・高等学校での教育指導や教育活動で実践的な経験を重ねながら教育現場への理解を深める。実習を通して教師としての資質の向上を図り、実践力を養う。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習校の教員の指導に従って学習指導案やその他の計画を作成することができる。 2. 実習校の教育方針を尊重しながら、実習生として自らを律し行動することができる。 3. 実習校の教育目標や指導方針、学校行事等に配慮しながら実習生としての責務を果たすことができる。 4. 英語以外の授業も可能な限り参観し、実習校の教育活動全体を把握することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	15	15	0	70	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)				5		10	15	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			10	2		20	32	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)			5	3		20	28	
技能・表現 (DP5-1)				5		20	25	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルの1から4の全てを達成した上で、常に自らの課題を見つけ、その課題に積極的に取り組んでいくことができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習校の教員の指導に従って学習指導案やその他の計画を作成することができる。 2. 実習校の教育方針を尊重しながら、実習生として自らを律し行動することができる。 3. 実習校の教育目標や指導方針、学校行事等に配慮しながら実習生としての責務を果たすことができる。 4. 英語以外の授業も可能な限り参観し、実習校の教育活動全体を把握することができる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>中学校・高等学校では、以下の項目を踏まえて積極的に実習の活動に参加して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育を継続的に行うための組織や活動を理解する。 2. 教科の授業計画を理解し授業活動に役立てる。 3. 教諭の職務を観察しその内容について理解を深める。 4. 教諭の指導を受けながら学級経営と生徒指導に関わる。 5. 英語および他教科の授業を参観する。 6. 教諭の指導を受けながら学習指導案を作成する。 7. 学校現場に即した評価方法を学び理解を深める。 8. 個別指導と集団指導の方法を学び、生徒を対象に授業を経験する。 9. 自らの資質向上のために研修方法を考える。 	実習		
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでの教職課程の授業で学修した知識と身に付けた技能。			
テキスト	指定なし。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>○ 実習前には、事前指導のオリエンテーションが行われる。必ず参加して心の準備をしてください。また、事後に開かれる実習報告会では実習を終えた者に貴重な経験を語っていただきます。</p> <p>○ 母校で実習を希望する者は、春休みや夏休みなどに母校を訪ねて、4年次に教育実習を希望する旨を先生方に伝えてコミュニケーションを保っておくことが大切です。4年次には、実習に入る前に、直接学校を訪問するか、電話等で期間中に担当する学年や教科書の種類、教科書の範囲等を訊いて、事前に教材研究をおこなしましょう。</p> <p>○ 実習中には、数種類の学習指導案の提出を求められるので、前もって教案の素案を用意しておくこと、実習中に速やかに担当教諭の指導を受けることができます。また、担当する個所を教えるのに必要な教具や教材を前もって準備することで、肝心の授業の準備や練習、生徒との交流により多くの時間を充てることができます。</p>			
達成度評価に関するコメント	上記の「評価方法」の「レポート」は教育実習記録及びレポート、「発表」は本学の実習校巡回担当教員が参観した授業や模擬授業、「その他」は実習校の校長及び指導教諭による教育指導及び教育活動の評価を指します。			

